



学校だより

あめ ま 雨にも負けず

がっこうちょう いしかわ ひでこ
学校長 石川 秀子

きゅうりやナス、ミニトマト、オクラ、アサガオ、フウセンカズラ、キャベツの苗やジャガイモ…、立野小学校の畑やベランダ、教室の棚では様々な野菜や植物が育てられています。子どもたちは栽培する方法を調べて苗や種の種類を相談して取り組んでいます。世話の仕方を考え毎日かわりを重ねることで、小さな変化に敏感に気付いたり、成長を喜んだりしながら学んでいます。iPadを個人持ちにした昨年度以来、自分の目で見るとともに、撮影したり記録したりお互いの考えを共有したりする道具としてiPadが各学習で活躍している様子も見られます。1年生は学校内の様々な場所や人々に出会う学校探検が毎日の生活の一部になり、仕事をする様子に関心をもって見つめたり話を聞いたりする姿が休み時間のたびに見られるようになりました。立野の子どもの気付きの目(芽)の鋭さ、不思議を感じる心の面白さ豊かさに、私たち教職員もわくわくしています。

校長室に飾られている「立野小学校の校章」を発見した1年生に、「何の形なのですか。」と質問されました。残念ながら私は即答できませんでした。「開校(明治44年《1911年》)のときに、今の校章がつけられました。校章の形全体は、誠実と躍進を表しています。中央の「立」の字には、立野の「立」という意味もあり、また、大きな希望を立ててやり通す力強い子どもに育つようにという願いも込められています。そして、字の形は丸や直線で表されていて、やさしさや素直さが伝わってきます。上の部分は、菊の花びらで、下の部分は、稲の実りを表しています。子どもたちが生命を大切に、大きく成長してほしいという願いを込めて作られました。」(創立100周年記念誌 たての) (校章はこの学校だよりの中央にもあります。)

子どもたちの健やかな成長を願う思いが、開校から続く本校の基盤であることに、1年生の率直な疑問によって改めて気付きました。

学習活動にも運動会などの行事にも、めあてをもって楽しんで取り組む子どもたちです。運動会は、雨天のため30日(月)に延期になってしまいましたが、各学年の練習や前日準備に取り組む5、6年生の姿からは、「自分たちで作りたい」という意欲が天候で損なわれることなく伝わってきました。昨年度は保護者の参観は無い運動会でしたが、今年「頑張っているところを見せたい」という思いは、子どもたちの励みに繋がっています。保護者の皆様の応援が、子どもたちにも学校にも力をくださっています。引き続き、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。当日もPTA役員、おやじの会の皆様方に多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。

さて、運動会も雨のため順延になりましたが、大雨等の自然災害が心配な季節が近づいてきています。本校南側は傾斜地になっており、土砂災害の特別警戒区域の指定を受け災害の危険があると言われていいます。現在、子どもたちの安全を守ることを最優先と考え、斜面一帯の安全が確保されるまでの間、斜面にある「仲よし野みち」と「ビオトープ」、中庭の使用を昨年度より見合わせています。(ビオトープ内の横浜メダカはおやじの会の皆様の協力により、昨年夏救出作戦が行われ無事移動が終わっています。)避難訓練の際にも避難経路を見直し、地震や土砂災害を想定した避難の際には、南側斜面から離れて行動できるようにしています。今後とも子どもたちの安全を守るよう取り組んで参ります。